

令和３年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立信夫第二小学校長

令和３年５月２７日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は６年生で、国語と算数の２教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国 語	６４．７％					○
算 数	７０．２％	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	68.3%					○
話すこと・聞くこと	77.8%	○				
書くこと	60.7%					○
読むこと	47.2%					○

【考 察】

- 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する問題が、よくできていました。これは、日々の読書活動や、授業中、主題や要旨を正しく捉え文章を読み取れることを意識してきた成果の表れと考えられます。今後も、学校全体で継続して取り組んでいきます。
- 資料を用いた目的を理解する問題において、つまずきが見られました。今後は、「聞く人に分かりやすく伝える」ための資料を選んで発表させたり、資料を選んだ理由を伝えたりする活動を大切にしていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	63.1%				○	
図形	57.9%	○				
測定	74.8%					○
変化と関係	75.9%					○
データの活用	76.0%	○				

【考 察】

- 棒グラフを正しく読み取る、条件に合う時刻を求める、速さと道のりをもとに時間を求める問題がよくできていました。これは、中学年までの学習の定着を図るための学習タイム、放課後の学習会の成果であると考えます。少人数ならではの強みを生かし「理解が不十分な場合に、時機を逸せず、すぐ支援すること」を今後も積極的に行っていきます。
- 商が1より小さくなるわり算や、面積の求め方を記述する問題、データの分類整理や複数のデータ比較の問題において、つまずきが見られました。わり算の問題については、問題文を読んで図に表したり、自分が求めた答えを吟味したりする習慣を身に付けさせていきます。記述式の問題については、答えを導き出した道筋を、式や言葉で端的に分かりやすく説明する場を授業の中で多く設定していきます。データの分類整理や比較の問題については、朝の学習タイムや授業の中で意図的に取り上げるとともに、解く道筋を全員が理解できるようにしていきます。